

女子200

福島予選敗退に涙

「どうしてこんなに遅いのかな」

世界陸上

【モスクワ】陸上の世界選手権第6日は15日、200

0㍉予選が行われ、福島千里(道ハイテクAC、帯南商高出)が、自身の日本記録より1秒ほど遅い23秒85にとどまり、4組6着で敗

退、準決勝進出を逃した。

世界との差実感 食欲に頑張る

▽女子200㍉予選で

敗退した福島は、ふがいないレース結果に肩を落とした。自己ベストよりも1秒近く遅い23秒85。「どうし

てこんなに遅いのかなと思ろ」と話すと、涙がこぼれた。

スタートの反応は一番。だが、持ち味の序盤の速さは出なかった。カーブの間にも達しないうちに、一つ内側のレーンの100㍉女王、フリーザープライス(ジャマイカ)が前に。世界のトップとの圧倒的な力の差を見せつけら

れ、4組6着に終わった。2010年に100㍉と200㍉の日本記録を更新

し、翌11年の前回大会は両種目とも準決勝進出を果たした。しかし昨年のロンドン



五輪に続き、またも世界の舞台で惨敗。「速かった自分はいない。ここから食欲に前を向いて頑張る」。失った輝きを再び取り戻すことを誓った。(モスクワ時事)

【女子】

▽200㍉予選

「4組」◎福島千里(北海道ハイテクAC) 23秒85 落選(時事)

女子200㍉予選、ゴール後に厳しい表情を見せる福島千里 15日、モスクワ(時事)